

番号	(1)将来像について	(2)重点目標について	(3)重点目標サブテーマについて	(4)大施策について	(5)主な目標指数について	(6)先導・横断的プロジェクトについて	(7)責務と役割について	(8)その他のご意見	
1					都市農村交流人口はどういった人数を計上するのか？中山間地で行うイベントの参加者数なのか、年間の各施設利用者数なのか？				
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 ⑤の「都市農村交流人口」人数の計上方法についてですが、「安倍ごころ」「わらびこ」といった都市山村交流センターの利用者数、「黄金の湯」「やませみの湯」等、市営温泉の利用者数の他、南アルプスの登山小屋利用者数などを合計した人数を計上しております。 今後ともオクスズをよろしく願っています。								
2	お互いに積極的な交流の機会を作れるとよいですね。		都市で活動されている方々が、リラックスできる空間を提供できる地域であることを誇りとして若い世代の人たちが、前向きな活動をしていけるようにサポートしたいです。	オクスズ地域での起業を目指しているような積極的な参加者への支援ができるような制度ができると良いと思います。	市産材の10%底上げする目標について大賛成です。お茶やシイタケ・わさび・清沢レモン等地場産品のPRもまず一緒にやってほしいです。	静岡市の再開発地や、新しい街づくりの中に、しずおか市産材利用の促進をお願いします。	責務について、内容がわからないので、今はこたえられせん。 地域にある森林の整備は、その地域の水源涵養や土砂災害の防止・多様な生物が息できる豊かな環境の維持は、きっと子供たちのためになると考えます。 都市に暮らす方々や、地域の有力な企業へたいする理解・普及活動は重要です。 都市と森の関わり方や、連携の仕方をどうしていくべきなのか、是非検討していただきたいです。	既存の保養施設の充実とアクセス路の整備ができるとよいですね。 未整備の森林地帯への林道設置は、緊急に対策を考えていただきたいです。 中山間地振興課の職員の方たちと、地域のやる気のあるリーダーとの対策会議をやるのもいいと思います。丸丸の生産者だけでなく、観光・お茶・みかん・わさび・しいたけ・猟友会のみなさん一緒に考えられるには時間がかかるかもしれませんが、そうなるといいですね。 そういう意味では、林研は近いんですが・・・静岡・清水・井川の3森林組合の積極的な交流会・意見交換会なども期待します。 3組合による共通の将来像の目標を設置するのも意義があるように思います。 それぞれの森林組合は、地域にあっては影響力の大きい団体です。組合の活性化が地域の活性化に大きくかかわっていると考えます。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。全ての項目に対し、積極的な前向きなご意見をいただきました。 いただいた意見については既に計画及び大施策に記載の各項目のさらに下にある第4期実施計画の中において位置づけられております。 なお、⑧その他でいただいた意見他については、今後の施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願っています。								
3	具体的なイメージが湧いてこない。この計画を通して、オクスズをどうしていきたいのか、オクスズの住民、都市部の住民、それぞれにどういったライフスタイルを提案していきたいのかがあると良いと思う。	オクスズの活性化という意味では良いと思うが、ベクトルがオクスズにばかり向いているような印象を受ける。将来像実現のための最初の課題として、オクスズの活性化に注力していかなければならないことは確かだとは思いますが、この目標を達成したあとの次の目標など、段階的に目標を定めてはどうか。	項目は良いと思う。このサブテーマも優先順位や達成していく順番のようなものが明確になっていた方が、いいのではないだろうか。	なんのために基本理念→重点目標→サブテーマと掘り下げていったのか。せっかくサブテーマまで掘り下げたのだから、それをもとに施策を考えるべきではないのか。そもそも大施策を設定する必要はあるのだろうか。下で挙げている6つのプロジェクトを大施策とした方がより具体的で、計画の方向性が定まりやすいと思う。抽象的な施策を掲げてあれもこれも手を出すよりはもっと具体的に絞り込んで取り組んだ方が効果は高いように思う。	特になし。強いていうのであれば、これも優先順位をつけるべきだと考える。	この6つのプロジェクトと大施策の違いが今一つわからない。私はこれらの6つのプロジェクトを大施策としてしまってもいいと思う。	各人の役割を明確にした点では良かったと思う。ただ、そこまで言及するのであれば各人のライフスタイルまで思案したほうがいいのではないと思う。例えば、一人の都市部の住民の1週間の生活をシミュレーションしてみるなど、具体的に一週間の中でどのようにオクスズと関わりをもつて生きていくのかという部分まで掘り下げてほしいと思う。今の計画ではオクスズが抱えている問題を解決する方法を事務的に書面に起こすだけに留めてしまう。		
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は今後の施策において参考にさせていただきます。 ④⑥の質問についてご説明させていただきますと、条例に掲げた基本理念1～5と大施策1～5がそれぞれ紐付されております。また、6つのプロジェクトについては、大施策が複数に絡んだ事業となっております。①⑧でご指摘のとおり、全体として抽象的であるとのことですが、この計画に基づき詳細な施策集である第4期実施計画において詳らかにさせていただきます。予定です。 今後ともオクスズをよろしく願っています。								
4	将来像として山村と都市の共生・共育する町静岡の理念には大いに賛成です。都市部一局集中ではなく山村部にも分散して発展していかなければならないと考えます。			私の住む村では5つの大施策も全く情報も入らず関係なく暮らしています。まず、情報の伝達計画の周知等を徹底していただきたいと思えます。		私の住む村では環境が整っていません。水道は簡易水道ですが雨の降った日は水が濁って茶色になり2～3日続くこともあります。	上水道が不備な状態は市は責務・役割を果たしていないと思います。市が責務・役割を果たしていない以上、住民に責務・役割を押し付けるのは異常だと思います。	私の住む村は簡易水道です。雨の日は水は濁り飲むことはできません。村の老人で水の管理が大変で年々難しくなって行きます。近くに市の上水道も通っていますが、市に加入できません。当面維持管理だけでも市に行っていたらいいと思います。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。 ④でいただいた情報の伝達、計画の周知徹底については、市としても大変重要であると考えております。また、今後、今まで以上にプロモーションに力を入れていく予定です。 ⑥⑦⑧では住環境についてご意見をいただいておりますが、関係部局と連携して解決策を探っていきたくと考えております。 今後ともオクスズをよろしく願っています。								
5								私の考えていたオクスズ地域とは静岡市の近接の田舎とはかなり違う地域でしたので、市民が普通の生活の中で少しの時間で市のまわりの田舎や山間部に昔風の山村風景を眺められる場所があれば、また、残っていれば市民にとって必要な地域ではないかと思う。この私の住む地域では今でも昔風な生活を行っている村で近隣の付き合いも深くお互いに苗字でなく下の名前前で呼び合っている事から村から出る人もなく、昔風の生活が毎日繰り返されていて、たまに市民の人たちが訪ねてきて村の中を歩く姿を見かけ市民にとっては身近な田舎といった感じでリフレッシュするための憩いの場所ではないかと思っている。こんな近くの山あいの地域も市にとっては必要な山村ではないかと思う。 オクスズの地域とはかなり違い、市の周辺にある山あいの村ですが、まずは身近にある山村の姿も考えてみてもらいたい。イノシシ、猿、ハクビシンなど毎日のように庭まで来ている地域です。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。⑧に記載の内容についてですが、今回のオクスズの地域おこしの見直しの中では、新たに「交流」の概念を重要視しております。この考え方に基づき、オクスズや都市部のみならず、オール静岡の観点から交流の推進を考えることができると考えております。 いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願っています。								

番号	①将来像について	②重点目標について	③重点目標サブテーマについて	④大施策について	⑤主な目標指数について	⑥先導・横断的プロジェクトについて	⑦責務と役割について	⑧その他のご意見
6	生き継ぐ後継者の存在が見えない中で、将来像を描くことができませんが、住民入集まれば言葉にすることは、都市部と短時間で往来できるであろうトンネルの交通手段が早急に実現できることを望んでいます。井川を住む場所として愛着を持って守り継いでくれると思います。	住んでいる者だけの力では積極的な後継者確保は皆無に等しいと思います。やはり生活環境(特に交通の便)の整備がなされ都市部に住む子供や肉親との交流が容易になされることにより、重点目標の実現に結びつくと思います。	具体的に媒体とする活動(?)が(を)効果を生み育てるか確かではありませんが、交流により意識の改善、地域住民(市民)としての役割等が再認識できるのではないのでしょうか。井川のお宝発見、経済活動につながったら最高ですね。	施策実現のためには、住民へのきめ細かな具体案の浸透を図ることが大切であると思います。高齢化した地域であればこそ大きな力となる様に思います。シルバー支援組織があればいいと思います。地域の中に地域のビジョンが明確に住民ひとりひとりに判りやすく理解できる手だてが欲しいと思います。多くの住民が?の部分が多すぎます。	目標指標の項目によっては、以上(例8件以上、20件以上)という数値にしたほうが良いように思います。「数値が達成したので・・・」という対応に弾力性があつた方がと思います。	井川には財産区林等があります。住民のための容易に有効利用が可能になる法律を改正はできないものなのでしょうか。	500人足らずの人が住む地域です。住民ひとりひとりが責務・役割が何であるか自覚できるような主導を行政に望むことはできないでしょうか。リーダー養成講座、地域の中で主導してみたいです。	⑥で記入しましたが、具体的にどんな活動施策のために利用したら効果ある地域活性につながるのか・・・やはりトンネル開通を望む声が多く聞かれますしそう思います。 ・井川の中に色々な事業体(企業体)が派生していますが、一緒に意見交換する機会が個々の企業体にゆだねられ(当たり前かな)ています。このままでは大きな力にならないのではと思います。 ・⑦の下段記載
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 ④に記載いただいた「目標指標の書き方」についてですが、ご指摘のとおりでございますので、全ての目標指標において反映させていただきます。 ①②⑧では住環境についてご意見をいただいておりますが、関係部局と連携して解決策を探っていくと考えております。 その他いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願いたします。							
7	オクスズの中でも特に私の住んでいる井川は経済距離、交通アクセスに問題があります。まず大日峠のトンネルが第一と思います。	後継者確保が第一ですが井川で生活できる基盤が崩れてしまったので、新しい経済活動が必要でしょう。定年退職後帰る人はあるでしょう。	サブテーマとしては良いですが、やはり②と関係が大切でしょう。	何をだれがどう進めるか?	目標としては適当でしょう。	移住促進、そして地域資源の活用をてのおもてなしで多くの人達に訪れてもらう場所を作る	地域に住む人たちの考え方を考えることが第一と思います。	計画はずばらしいものと思いますが、問題はそこに住んでいる住民後継者の問題でしょう。
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 ①に記載いただいた住環境については、関係部局と連携して解決策を探っていくと考えております。 ④に記載いただいた「何を誰がどう進めるか?」についてですが、大施策に記載の各項目のさらに下に第4期実施計画があり、その中において詳細に整理(記載)されております。 その他いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願いたします。							
8	基本理念やイメージする将来像ともしっかりとした理念に支えられたものであると考えますが、この理念を体現する主体である地域住民、都市住民、事業者、市をチームとしてまとめるシステムが欠如していると考えます。オクスズ学、という哲学を共有することでそれぞれの主体の知識、活動を体系的にまとめる必要があると考えます。	オクスズにある各集落の人口を維持・増加させることは、各集落を維持・活性化させることそのものであると考えられるため、人口維持という課題を明確化する事は良いことであると思います。	都市住民の消費資本労働力獲得をめぐり、交流を掲げることは良いことであると考えます。ただ、現段階においてはそのためのプロセスが未整備であると考えます。	5大施策自体は妥当であると考えますが、それを担う主体が誰であるかが問題であると考えます。オクスズ地域おこし条例では、開発の主体で市だけでなく地域住民、都市住民、HPO等を挙げており、地域の振興は条例の理念のとおり多様な主体が担うべきと考えます。	具体的な数値を掲げることは良いことであると考えますが、市がこの課題に単独で取り組むものではなく地域住民、都市住民、事業者という各主体が参加したチームで取り組むべきであると考えます。そのため、市がなすべきことは、チームを作るシステムの構築であるべきです。	オクスズにおける問題の根源は過疎化にある為、行われる事業は財源・予算との兼ね合いのもと、人口を維持・増加させる事業の優先順位に沿ったものである必要があります。「茶どころ日本一計画の推進」は国内・国外の需要をどのように予測しているのか、ターゲットの各層の見積りも対し不安を感じました。	「公共」に対して責務や役割を担うこと自体は正当なことであると考えますが、問題は、その公共の内容であると考えます。「公共」が、行政や一部の資産家だけのものであったり、個人の人権を侵害するものであった場合、問題が生じると考えます。今回の内容であるならば、問題は生じないと考えますが、多岐にわたる責務の設定は難しいと考えます。	オクスズ振興の主体として、大学等の教育機関も挙げられると考えます。また、既存の各主体をコミュニケーションする為「オクスズ学」を作り、知識・課題の共有化、体系化を図るべきです。このような作業は、大学が担うべき仕事であると考えます。大学にとっても制度として「地域とのコミットメント」が保障される為、メリットがあると考えます。
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 多くの項目に記載いただいた「チームづくり」の考え方、大学を巻き込み「オクスズ学」として体系化する考え方など、今後の施策推進において重要なキーワードであると考えており、今後の施策展開の参考にさせていただきます。 ⑥に記載いただいた茶どころ日本一計画の推進についての不安ですが、これについては、またオクスズ地域おこし計画とは別に、さらに深掘して施策を体系化しております。 今後ともオクスズをよろしく願いたします。							
9	古希を迎えるような年齢の私たちには、「なるほど、こうなってほしいものだ。」との思いが強い。しかし、問題は、このような考え方が、小中学校の子どもたちの将来の夢の中にどう位置づけられるかが計画の成否を決定することになると考える。	残すことを考える時代は終わりました。入れる事を考える時代です。良いと思います。山間地から都市部に通う(出て行く)、都市部から山間地に通う(出て行く)		今、すぐには分かります。しかし、10年先20年先を見通せば教育(子供)への働きかけは、絶対に必要だと思う。			オクスズが都市住民の憩いの場ととらえるならば、都市住民の責務はもう少し変わるような気がする。	子供を育てる場としての中山間地をどうとらえるかが問題だと思う。
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。 ①④⑧などに記載いただいた、子育ての場としてのオクスズの位置付けについては、関係部局と連携して施策を展開できたらと考えております。 今後ともオクスズをよろしく願いたします。							
10			移住世帯件数の目標指標として現状値:1件→H30:20件とありますが、20件の根拠を知りたいです。				都市住民への周知の手段としてのネットワーク作りをお願いしたい。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 ③に記載いただいた移住世帯件数20件の根拠についてですが、数字の計上方法としては、オクスズホームページ内にある「空き家情報バンク」を利用するなど、一定の条件を経て移住した世帯数としております。第3次静岡市総合計画においては、H27年度からH30年度で計20件(1年当たり5世帯)となっておりますが、オクスズ地域おこし計画においては、さらに攻めの姿勢として、H28年度からH30年度で計20件以上と設定させていただきます。 その他いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願いたします。							
11		農家の後継者については会社員が多く農家を継ぐ後継者はいないといってもいいと思う。農家だけでは生活できない為後継者をそだてる為には即助的な対策が必要ではないか。		交流の推進で、安全な通行と交通手段の確保とありますが、52号線では1日の雨量が250mm以上になると通行止めになる場所や但沼から矢原まで公共交通が1日数本のしか運行していません。どのような対策、施策を考えているのか。	・中山間地への移住の促進をするためにはどのような施策があるのか ・野生鳥獣防除面積を400haに増やすとありますが、農地を借りて家族菜園のようにやっている人も対象になるのか	できるだけ早い実施をお願いしたい		
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 ⑤に記載いただいた移住促進施策についてですが、地域が受入れ環境を整備するための補助をはじめ、住宅改修補助、移住奨励補助などを整理しております。また、野生鳥獣防除面積についてですが、市の補助対象として家庭菜園は含まれておりません。 その他いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願いたします。							
12	人口減少の原因が街中への移住である場合、生活環境の整備が優先となる。自らの手で事業を立て、地域に残って働いていける環境が必要。次の世代への継承は、子供の数が減少している今では、真面目な姿で聞いてくれる子供が何人いるのか不安。現代の技術を使い、記憶ではなく形として残しておく。	地域を支える若い世代の確保は必ずおこなっていくべきだと思います。森林の整備も全国的に問題となっており行政だけでなく、地域住民の手で整備が必要となるため、人口減少にストップをかけて行かなければならない。活性化は、移住によるものではなく、街中からの観光を重点にしていけるべきです。	地域の人が様々な人たちと交流することにより、新しい形の文化が生まれる可能性もある。独自の行いと知識だけでは限界が訪れます。	農業に関心のある方の受け入れを行うみるのはどうでしょう。長期間での受け入れを行い、受け入れ終了後にそのまま残れる場合の方に住居の提供等	事業は地元の土産を生かした物を販売等する大きな事業が必要。その事業に動めるために移住していただくとなつがる。	物の販売は、観光客を対象にするものではなく、オクスズ以外の場所にいる観光客をターゲットにする。オクスズの知識を伝える。(オクスズの良さを伝える。)そのため、まずは多くの場所で物の販売をする。	まずは、森林の大切さや環境保全の意識を高める必要がある。	空き家バンクが藤枝で話題となりました。空き家が少ないわけがないのに、バンクには登録されていない。地域住民も新しい受け入れの準備ができていないことが問題なのではないのか。
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 具体的な様々なご意見のとおり、交流観点と後継者の問題は、計画の推進に欠かせない観点であると考えており、計画及びこの下に整理中の第4期実施計画の中にて盛り込んでいく予定となっております。 その他いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願いたします。							

番号	【①将来像について】	【②重点目標について】	【③重点目標サブテーマについて】	【④大施策について】	【⑤主な目標指数について】	【⑥先導・横断的プロジェクトについて】	【⑦責務と役割について】	【⑧その他のご意見】
13	山村と都市が共生、共育するのに必要なインフラ(主としてアクセス)整備が重要と考える。	地域集落の活性化のため、農作物のプロモーションが重要である。	サブテーマを実現させるためには情報基盤や道路交通網を整備(主として井川地区)する必要がある。	日常生活、ビジネスの面で情報通信は欠かせない。そこで、オクスズのいかなる地域においても、インターネット、携帯電話、地上デジタル放送の利用環境の整備が急務と考える。	東京オリンピックのインフラ整備に、オクスズの材木その他必要な調達物品のプロモーションを行い、活性化を図ることとしたい。	本山茶他のブランド化を進め、世界を市場としてプロモーションを促進する。その他地域材についてのPRをする取組を促進する。	市民、市、事業者が協働で役割を担うことが重要でかつ急務と考える。	急速に進む高齢化に対応した交通インフラの整備(都市にはLRT、中山間地域には利便性の高いバス(小型)を運行させる)が大事。
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。プロモーションやネット環境の整備などについては、市としても大変重要であると考えております。いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。							
14								資料「推進体制」の「地域特性に応じた施策の推進体制」にあるように、地域の課題特性に応じて地域に合った取組方針によりきめ細かく、無理のない施策を実現してほしい。
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。⑧に記載いただいたご意見については、市としても大変重要であると考えており、今後実施計画を策定していく中においてきめ細かく整理したいと考えております。今後ともオクスズをよろしく願っています。							
15			現在、当地区においても移住する方が数名いらっしゃいますが、いざ、各地区での町内会活動に参加してもらう為に町内会費連合町内会費等、一月月の必要経費のお話をさせていただくと市街地に比べて約10倍の増になってしまいが、町内の付き合いをできない方がいるのが現状です。他にも、さまざまな面において問題がある。					
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。③に記載いただいた移住についてのご意見は今後の施策において参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。							
16	基本理念の3つ目に「オクスズに地域住民が暮らし続けることができ、地域住民が増加する環境を整備されなければならない。」とありますが、井川ではここ数十年、年間20人程度ずつ人口が減少しています。他のオクスズ地域の多くでも人口の減少傾向が避けられていません。この状況下で人口をプラスに転換するのは容易ではありません。地域の人口が増加する理念はたいへん頼もしく、本当に実現するのならば、これほど心強いことはないと思います。地域の雇用が生まれ、安心して地域に暮らせる環境整備を切に願います。	地域づくりは、人づくり(後継者育成)であるという考えは同感です。それぞれの地域には固有のお宝があると思いますが、それらを継承していくためには地域住民がボランティアで活動しているのが現状です。伝統のお祭りでさえ、人手が足りず縮小せざるを得なくなってきています。地域を支える後継者を確保するためには、そこで生活するための稼が必要で、地域で生活するための収入源(地元企業の雇用の増大や、地場産業の拡大など)の確保をお願いいたします。				地場産業である林業の衰退は、同時に地域の衰退を意味します。木材価格が低迷していると言われますが、木を山から切り出し、都市部の市場まで搬送する経費が陪えないのですからどうにもなりません。単純に木材価格を意図的に上げることはできないのですから、できることは「搬出経費に補助金を充てる」「木材を都市部へ搬出せず、地元で加工・商品化を行い地元で販売して収入を得られるようにする」のどちらかと考えます。農作物も含めてですが、野生鳥獣被害対策とあわせて、これらの問題解決を具体的に実行して欲しいと思います。		日頃、中山間地振興課職員の皆さまの業務のおかげで、「オクスズ」が各方面に注目されていることに感謝申し上げます。「オクスズ」地域は、南アルプスの麓井川や梅ヶ島から駿河湾に近い由比入山地区まで、広大であります。この地域をいまの人員でカバーしていくとはかなりの激務ではなからうかとお察しします。市としての責務と役割を果たし、本計画をより実効性の高いものとしていただくため、担当職員の増員を要望します。「奥大井」「奥藁科」「安倍奥」「奥清水」の地域ごと担当職員を配置(できればその地域で住み込めるようにしてほしい)してください。あと、課の名称も中山間地振興課から「オクスズ課」としたらどうでしょう。
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。							
17	理想としては理解できるが、具体的方策が見えない点では、可能なことは思えない。	上記と同じ。	現在の地域において安定した収入を得られる方法を見出さなくては、移住、定住は難しいと思われる。	静岡にしかないものを生み出し、売り出す等が可能であれば可能なかもしれないと思います。	上記と同様。実際に可能な数値とは思えない。			山間地には、様々な苦勞が多いのが現実で、災害も多く被害も多い現状を考えると、今後ますます避ける人が多くなるように思う。経済的バックアップが必要だと思う。
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。⑤に記載した目標指標については、それぞれに積算根拠があり、様々な施策によって実現に向け事業を展開していく予定です。その他いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。							
18	理念3にある環境整備が急務であるが、現状は道路整備、農地整備等後手にまわっている感が強い。予算面で大変な部分も多いと思うが、住む場所の確保・整備に資金をつぎ込んでほしい。	後継者の確保とあるが、後継するものが見当たらない。農業を継続できる環境がなくなっている。鳥獣駆除も範囲が広すぎて手におえない。農業に関心があっても生活していない状況では専業はとて無理。	まず定住を考えたいが、どんな支援をすれば定住してくれるのか？やはり就労できる条件がないと残ってくれないのではないのか。若者の流出が続いているが、地域に仕事がない。	オクスズの中でもいろいろな地域性があり、本地域を考えたとき、あまりあてはまるものがない中では安心・安全を考えた防災防犯体制についてはなんとかしなければと思う部分である。自主防組織も地域外への通勤者が多く老人に頼らなければならぬ状態で、どう組織するか頭が痛い。	達成可能と考えているのか、単なる目標がよくわからない。達成のためにもう少し細かい要綱が示されればよいのだが。	当地にあてはまるものが見当たらない。	本事業は責務と役割で推進できる事業なのであろうか	全体的に後ろ向きな考え方で申し訳ありません。まだ、この事業で具体的に何をやるようとしているのかよく理解できていません。
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。⑤に記載した目標指標については、それぞれに積算根拠があり、様々な施策によって実現に向け事業を展開していく予定です。その他いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。							
19	治山治水のために、オクスズが保全されることは大切	住民の足の確保、小回りのきくバス(タクシー)が使えるといいバス停まで1km2kmでは、役に立たないです。食料はおうちコープががんばってくれていますが、医療、福祉も、小回りのきく対策があったらいいです。	空き家に関しては手放してもらえないケースが少ないのですが、家自体がこわれてしまわないうちに持ち主との話し合いを進めてほしい	交流・産業・その他関連深い問題として光ファイバーがあります。山間地での通信は、絶対必要なもの、仕事も遊びもインターネットなしには成立しません。すぐに絶対必要なもの。	交流人口の増加はぜひ目指すのいいと思います。そのためには新規事業も起こせると思っています。	「お茶のまち」推進のため、学校給食時のお茶の普及をお願いしたいです。現在牛乳が支給されているため、小さい子たちはお茶を飲めません。牛乳はほかの時間にして食事時にはぜひお茶で。28年度オープン清水両河内交流館、住民の希望で木造になったのはいいのですが、両河内の木は大黒柱用にやっと1本。これはひどいです。	④にも書きました。NTTは山間地に(光ファイバー)を引く計画はありません。これはもう、行政の仕事になっていくと思います。	地元の人達がやり始めようとしていること、やっていることを、どんどんこの事業に格上げ、すいあげをしていったらいい。上からやりませんかーは、やる気をそぐ感じがします。
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。							

番号	(1)将来像について	(2)重点目標について	(3)重点目標サブテーマについて	(4)大施策について	(5)主な目標指数について	(6)先導・横断的プロジェクトについて	(7)責務と役割について	(8)その他のご意見
20	日常生活にかかせない飲料水(水道) 関し、山村部落の施設はほとんど老朽 化した現在に適さない設備が多くあり、 高齢化も進み管理するのが非常に困 難になっています。 都市同様に市水(市での管理)になるよ う考えていただきたい。		重点目標を実現のため、まず飲料水の 確保が一番必要であり、若者が生活に 苦にならない住み良い地域にするのが 一番だと考える。					我々の地域では雨が降れば水道水の濁り、大雨の場合には3 ～4日は各家庭への濁り水の配水が余儀されます。 また、年々高齢化してきており、水道施設維持管理していく のが困難になってきています。 深刻な人口減少問題の対応策の一環として、移住の促進等の 実施で人口増を図っていくとのことでありますが、安心して生活 できるよう、住み良い環境整備(特に飲料水)を実施すること により、すでに地域に住んでいる若者が引き続き当地区に同居 し、現在の人口を減らさないことも配慮し、ほかに移り住んだ者 を呼び戻す環境づくりをしていくためにも市営水道に加入をお 願いしたい。 給水人口 34戸 90人 65歳以上高齢者55.5% 女性世帯6戸 55歳以上高齢者72.8% 障害者世帯4戸
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。 住環境についてのご意見をいただいておりますが、関係部局と連携して解決策を探っていきたいと考えております。 今後ともオクスズをよろしく願っています。							
21						野生鳥獣害被害対策に取り組んでいる中で、ジビエ(野生鳥獣肉)や皮などの中 山間地域の資源の有効利用の促進、加工施設等の整備指導		地域と地域を結んでいた山道や稜線等を森林浴が楽しめるよ うに整備
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願っています。							
22			定住を促進するならば、何か人目を引 くような事業(有名な飲食店の出店や 公共施設の移転)を展開して行くような 考え方も必要ではないだろうか。				地域と都市の住民それぞれの 役割を持つのは良いことです。 広報としては、押しつける形で はなくお互いが理解をして自ら が自主参加するような形になる のが望ましいと思います。	市には市の対応、県に関する対応、国が実施する対応、それ ぞれがあると思います。 今、市民委員をやらせていただいておりますが、市の対応をい るいろいろ考えてみたいと考えています。
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 その他いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願っています。							
23	基本理念は良いと思います。 ⑤に記載した目標指標については、 それぞれに積算根拠があり、様々な 施策によって実現に向け事業を展 開していく予定です。 その他いただいたご意見は今後の 施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願 っています。	重点目標にするには、より具体的 に示すことであり、スローガンに 終わってはいけません。	第2東名を活かした資源活用のた め、雇用創出を生むための企業誘 致を具体的に示す事です。	山崩れ崖崩れの絶えない場当たり 的な対応では、安全な交通と交通 手段とは言えず、具体的に交通 行政が望まれる。 地域の資産「温泉」の利活用が 十分とは言えず、特に公共交通 手段とは言えず平日に高齢者の 癒される改善を望む。	具体的な活動が見えない。 700,000人政令都市の確保あやぶ まれ静岡市に何か必要かをより 具体的に示す必要があります。	市営温泉施設の有効的活用は、 管理者の責任において、赤字を なくす真面目な経営(例えば山 梨県「なんぶの湯」「みたまの 湯」を望む	雇用の創出は第2東名の資源を 活用し沿線に工業団地を造って、 企業誘致を図るなど。	地域資源の「温泉」を「オクスズ」 に位置付けるためにも、交通 手段の確保、雇用の安定を図る ため、担当者は自分の足で実 感するのが肝用と思う。
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 ⑤に記載した目標指標については、 それぞれに積算根拠があり、様々な 施策によって実現に向け事業を展 開していく予定です。 また、施策の実現のため、大施策に 記載の各項目のさらに下に第4期 実施計画があり、その中において 詳細に整理(記載)されております。 その他いただいたご意見は今後の 施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願 っています。							
24	静岡市民に山村のことについても っと意識させていかなければ実現 は難しいと感じる。	後継者の確保は難しいのではない か。	交流とはどんなことをするのか、 具体例を挙げた方が市民がわかり やすいのではないか。	地域資源を生かした新しい産業の 創出については良いことと思うが、 ただ出すのではインパクトというか 値段も安く なってしまいうるのでブランドとい う物にできるようにすればよいの ではないか。	市産材取引価格10%上昇は、現 実に考えて不可能だと思う。	移住させるために何をしているの か具体的なプランを考えた方がよ いのではないか。	市民に役割を担わずのは少し 酷なのではないか。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 ⑤に記載した目標指標については、 それぞれに積算根拠があり、様々な 施策によって実現に向け事業を展 開していく予定です。 また、施策の実現のため、大施策に 記載の各項目のさらに下に第4期 実施計画があり、その中において 詳細に整理(記載)されております。 その他いただいたご意見は今後の 施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願 っています。							
25	山村と都市の共生・共育については、 特異論はないが、5つの基本理念を 見限りでは、オクスズの保全・維 持・発展が前面に出ていて、都市 側の働きかけや交流の意志があ まり感じられない	集落の活性化も元気集落の構築も 外に異論はないが、5つの基本理 念を見限りでは、オクスズの保 全・維持・発展が前面に出ていて、 都市側の働きかけや交流の意志が あまり感じられない	オクスズについて知らないこと の方が多いので、いきなり移住、 定住を促進させるのは難しいと思 います。交流と同時に 周知に努め、まずはオクスズにつ いて知ってもらうことから始める べきだと思います。					
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 その他いただいたご意見は今後の 施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願 っています。							
26	静岡には豊富な資源、豊かな自然が あふれており、このような魅力を 最大限に生かせるようになってほ しい。	将来像の実現のためには、この3つ の点以外にも、市街地に住んでい る人達にもオクスズをアピールし ていく必要がある。	旅行等によって、その地域を訪 れることで、交流の機会が増える。 それによってよりオクスズの魅力 を実際に感じる事ができると思 うので、移住や活性化を促すには 良いと思う。	新しい産業の創出というのは人 材がいて成り立つようなものだと 思うので、その辺の基盤づくりを しっかりやってほしい。	市産材取引価格10%上昇は少し 実現的ではない。	多くのプロジェクトが挙げられて いるが、もう少し策を絞って1つ1 つしっかりと実現させていくべき。	都市市民は、オクスズとの直接 的な関係がない以上、責務・役 割の意識を持たせるには何ら か対策が必要。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。 ⑤に記載した目標指標については、 それぞれに積算根拠があり、様々な 施策によって実現に向け事業を展 開していく予定です。 また、施策の実現のため、大施策に 記載の各項目のさらに下に第4期 実施計画があり、その中において 詳細に整理(記載)されております。 その他いただいたご意見は今後の 施策の参考にさせていただきます。 今後ともオクスズをよろしく願 っています。							

番号	①将来像について	②重点目標について	③重点目標サブテーマについて	④大施策について	⑤主な目標指数について	⑥先導・横断的プロジェクトについて	⑦責務と役割について	⑧その他のご意見	
27	静岡市を地図で見ると、山間部が多いことに気が付きます。この重要性を広報するためには地図でオクスズの大きさを示して意識させていくことが必要だと思います。	定年を向かえた人をいかにしてオクスズに取り込むか、外国の方に魅力をもってもらえるかが鍵になると思う。そもそもオクスズのお宝と言われてもよくわからないのが現状なので、伝統的なものでも、農業でも何か売り出して何らかの賞があればアピールするべき。	交流という点で静岡には富士山がある。オクスズには目を向けにくいので、両アルプスという名前を前面に出して登山などのイベントを起こすのがいいと思う。	どの地域の山間部でも同じことを目標としているはずなので、オクスズならではのことが何かあれば大施策の一つのうちに出て、興味を引くような努力をするべき。	移住世帯件数20件は現実的かもしれないが、市産材取引価格10%上昇は何をするのか。木が売れないから、人も集まらない価格を上げても逆効果だと思う。	茶どころという印象は薄いので、お茶の特徴やPRしてほしい。くるものを拒まずいのしとふれあえばいい何か1点でもPRするポイントから始めるべき。	駅からやまへのアクセスや人の流れをつくるべき。南アルプスをPRするのなら、地元の人々がどうにかするしかないと思う。		
市の考え方	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>⑥のお茶のPRについてですが、オクスズ地域おこし計画とは別に、茶どころ日本一計画が策定されており、その中において、さらに深掘りして施策を体系化しております。</p> <p>また、⑦のアクセスについては今後の施策推進において重要事項と考えており、今後の施策の参考にさせていただきます。</p> <p>なお、①でいただいた意見を基に、オクスズ地域おこし計画改訂版において、表紙裏見開き2ページで、「オクスズって？」とページを設け、詳細にオクスズを紹介させていただきます。</p>								
28	地域が持続可能になるために不可欠と言われている「自立」の言葉をに入れてください。「自立」はオクスズ条例でもうたっているし、サクセスケースを持つ全国の大半の中山間地域のキーワードのようです。将来像とは理念であり長期計画だと理解しました。色々な意見・議論・計画の可否は理念に立ち戻ります。短期計画を押し進めたいために理念は大切で「共育」などと言う造語は、理念で使うべきではないのではないのでしょうか。「自立」という視点が入った状態で、目標や施策をもう一度再考察していただきたい思います。	地元の大卒の子供達が卒業とともに出て行ってしまっている現状の中で、後継者とは誰を想定しているのでしょうか。移住者の存在も何となく想定しているのなら「地域活性化リーダー」と書いての方が計画のベクトルがハッキリしそうです。何もかも行政頼りと言う訳には行かなくなってしまう現状の中で、理念からブレることなく頑張り、結果が出るまでくいつく人や団体への支援策が重要で、重点目標が中期計画目標としたら、従前計画の2つの定めも曖昧です。策定から3年、目標実現の方向性をイメージできる言葉は探せないのでしょうか。	サブテーマが施策策定のキーワードだと理解しました。「(過疎化)予防」も必要不可欠なキーワードだと思っています。人口推移の予測では、私たちの両河内は5年後には小中学校の統合が話題になる危険が潜んでいます。「過疎化を予防する施策」が大事な時期、待ったなしの状況です。	大施策が「直近3年で大体こんな事をやりますよ」と施策の大枠だと理解しました。それぞれの地域には、特性にも課題にもオリジナリティーがありますので、それを踏まえたきめの細かい地域ごとの具体策の策定が成功の鍵のようです。その具体策は地域住民参加で作りたいものです。地域ごとの施策を大施策ごとに一斉公募するのも良さそうで、地域のやる気も達成できそうです。	具体的にどこにどのような取り組みを行い、それぞれの成果目標をどの程度に設定しているのかなどの「なぜ？」が書かれていけませんのでコメントはできません。少なくとも移住世帯の目標件数が3年で20件で、奥にも横にも広い中山間地域「オクスズ」にどんな変化が期待できるのでしょうか、山里に移住希望の波が来ているのだからもっと頑張りましょう。	移住促進事業は日本国中の中山間地域が、町や村をあげて取り組み、過疎化予防の決め手となっている施策で、いわば激戦地。「地域主体」型も大事な手段だと思いますが、行政主導事業として重要な通信のインフラ整備が運れているのは決定的なマイナスポイントです。両河内のテレビは共同アンテナで各家庭につながっています。それを使えば比較的小予算で高速回線が引けませんか。また、計画書には「おもてなし」などと言う曖昧な言葉でなく、もっとハッキリ、プレないような言葉にしていだだきたいです。	誤解ならぶうれしいのですが、中間案の文章では、市は施策を後方から支援する役割に留まりたいがっているかのように読み取ったのは私だけでしょうか。中山間地が抱える課題は外からは解決困難なことが多いとは承知していますが、もしも市に、施策の推進主体となり結果に責任を取る立場が、様々な事情で困難になってきたという結論が出ているのなら、その代替策を明快にし、それに対して可否を求める位の「本気度」が、ここまで来てしまっている中山間地域振興には必要だと思います。	日本全国で話題になっている中山間地域活性化策のキーワードは、小さな経済の地域内循環で地域を経済的に自立させる施策や、人(リーダー、移住者)を手放さず獲得する施策が重点施策となる方向にシフトしているようです。両河内は車で30分走れば70万人の市街地と結ばれている訳です。で“共生”の考えは理解できますが、都市部には無い独特の魅力を備えているのが山里の価値だと思います。中山間地域が過去100年の間に捨ててきたものを取り戻そうとしているのです。効率、経済という考え方を一度忘れて、息長く計画的に再生していただきたいです。	
市の考え方	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>全体を通して、細かく前向きなご意見をいただきました。今後より一層、市だけでなく地域住民と連携して中山間地域を活性化させていけるよう、施策推進において参考とさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。</p>								
30	もし、全て実現できるのだとしたら、すばらしい事だと思います。しかし、実現可能性はどれほどあるのでしょうか。現状だと、現実味が無いように感じています。	後継者に関しては難しい点が多いと思います。父が井川中学校の教員をしていた事もありましたが、地元には高校がなく、中学校にも部活は二つ程度しかなく、外に出してしまう人が多い。また、本人が戻ってきたいと思っても、仕事がないようです。	母の実家が安倍奥と呼ばれる依沢に住んで農業を営んでいます。ですが、地域住民が交流を望んでいるという点が残ります。また、定住に関してですが、従兄弟は、現在静岡を出ています。離れたくはなかったようですが、進学先も就職先も難しかったようです。若者を出したくないのなら、そういったサポートをするべきかと思いました。	「安心・安全」とありますが、自然や生物のことなど難しいと思います。達成に向け、各方面が努力していくべきかと思えます。	達成できるかどうか、疑問が少し残ります。			都市住民や、市が、担うべき役割とは何でしょう。	
市の考え方	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>特に③の定住に関しては、移住促進事業を進めることと同様に重要な課題と考えております。中山間地域からの人口流出対策について、今回のご意見を参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。</p>								
31	基本理念や静岡市の将来像としては理想的なものだと思うが、少し現実味が無いと思った。もっと、オクスズの住みやすさを市が整備してPRしていく必要がある。	3つ目の「後継者の確保」が難しいと思った。後継者を見つけるためには、他市、他県からの移住が欠かせないと思うが、そのためには幅広い世代の人が住めるよう、医療や教育などを充実させなければならぬと思う。また、今の現状で後継者が見つかったとしても、それで食べていかなければならないので厳しいと思う。	「交流」というサブテーマを新たに追加したが、都市住民と地域住民のつながりを持つためにはまず交通の不便さがあるため難しいと思った。現在、山道を車で通らなければオクスズに行きづらいので難しいと思う。	「安心・安全」という施策は山間地ならではのより具体的な施策を提示した方がよいと思う。	少し目標が高すぎる気がする。もう少し減らした数字から、徐々に数字を上げていくべきではないかと思う。			市民と市と事業者が一緒に取り組むことには賛成だが、計画の進み具合などを一般の市民にも公示してみられるようにすると良いと思う。	
市の考え方	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>いただいた意見は今後の施策の参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。</p>								
32		外からみてもわからないので市の職員が1〜2か月くらい住み込んで現地で暮らしている人と一緒にどうしていいか考えてみる	市でお金を出し格アツアツみたいのを行い、一度自然にふれてもらうことでもかしたら、また来てくれる人もいられるかもしれないし、都市の住民と交流ができる		お金がすごくかかると思いますが、ネット環境をもう少しよくする	仕事を欲している外国人を呼んで茶づくりの技術を伝えあわよくばオクスズで暮らしてもらおう	市がもっと真剣に考えることから		
市の考え方	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>いただいた意見は今後の施策の参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。</p>								
33	対象が静岡の人や中途半端に田舎の人としているならば、住民の増加や次の世代への継承は難しいと感じた。もっとグローバルに観光のようにしてみてもどうだろうか。	外国人の観光客に対して熱心に継承すれば、後継者として移住する人もいないのではないか	外国人観光客が移住してくれば、その元気で地域が活性化するのはないか？ スゴ技とか・・・？	ビジネスとしてお金を生産していこう！ 資源を公益的に機能させていこう	防除面積を広めるのは良いと思うが、その他が少し難しいと思った。	お茶をもっと広めていけば良いと思った。井川茶、川根茶はうけが良いと思う。	オクスズが活性化したら利益を受ける人だけに責務をおえば良いと思う。自分が恩恵を受けられるなら担います。		
市の考え方	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>さまざまなご意見をいただいた中、特に②の移住に関して、これまで以上に移住促進やプロモーションに力を入れていきたいと考えております。今後ともオクスズをよろしく願っています。</p>								

番号	(1)将来像について	(2)重点目標について	(3)重点目標サブテーマについて	(4)大施策について	(5)主な目標指数について	(6)先導・横断的プロジェクトについて	(7)責務と役割について	(8)その他のご意見
34	山の効果で川が氾濫しなかつたり山で採れる産物を食べたりと山ひとつないだけで今の生活は大きく変わらと思う。山で暮らすことはなくても、山の恵みはあるというのはなんとなく感じるので更に具体的にする為にもいいと思う。	高齢者が多く若者は田舎に残らないというのは何回か耳にするが、若者の興味を引くものがないから起こるので後継者確保の前に興味を引くものをがんばるべきだと思う。	一泊のツアー等で体験させて交流するのとは違うか耳にするが、若者の興味を引くものがないから起こるので後継者確保の前に興味を引くものをがんばるべきだと思う。	交流をし人を増やし活性化すれば産業も繼がれ十分な地域おこしになるからいいと思う。	期間もあり可能かもしれないが、成功させるためにもう少し目標を下げるべきと思う。	山特有の問題をボランティアを集め協力すればできると思う。	市の山といってもそれを全市民に負わせるの悪いと思う。まずはやる人が負うべき。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。目標値についてですが、これについては確実に達成できるように下げるのではなく、オクスズをより良い状態していくために想定をやや上回る程度の数値としています。責務と役割については、オクスズは静岡市が誇れる全市民の資産であるため、全市民が責務・役割を負うことが妥当と考えます。しかしながら、オクスズがどれほど素晴らしい地域なのかを全市民に知ってもらえなければ、責務・役割について理解を得られないと思いますので、今後は今まで以上に積極的なPRを実施していきます。その他の意見も参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。							
35	「山村と都市が共生・共育するまち静岡」にするには、やはりいろんな人が行き来できるような交通整備を整えることが必要だと思う。そうすれば税などもかけられるので経済的にもまわる。	地域を支える後継者の確保と地域のお宝継承は難しいと思う。今現在で移住で苦しんでいるので、さらに若者を引き付けるようなことはなかなか見当たらない。	「交流(都市住民と地域住民の協働)」を追加するのは賛成です。交流することで、オクスズならではの魅力をわかってもらうことが必要である。	地域資源を活かした新しい産業の創出は、オクスズの魅力が伝わるいい機会である。また、オクスズの公益的機能の維持・保全は、道路整備をして、ふつうの人がオクスズに来やすい状況を作っていくうえで必要なことだと思う。	市産材取引価格10%上昇はきついなと思う。木材は、輸入の方が安いし、国内産のものはあまり使われていない。さらに10%上昇はもっときついなと思う。	地域主体の移住促進は、若者を引き付ける何かがないときつい。野生鳥獣被害対策は賛成。しかし、どのようにすれば対策ができるのか思いつかない。	合併などにより端々の市は行政サービスがうまく行き届いていないのが現段階である。オクスズのような奥の地域に行政サービスは届くんですか？	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。地域主導の移住促進についてですが、これは地域と行政が連携して移住促進事業に取り組んでいくという考えです。現在大川地区、玉川地区の2団体が移住を促進させるための活動に取り組んでおり、市は移住促進事業補助金を交付し、その活動を補助しています。地域の受け入れ態勢が整っているこの2地区では移住体験ができるイベントなども実施されており、移住先の候補地としての問合せも多く、このような地区が増えればオクスズへの移住者も増えていくことが予想されます。今後とも地域と連携した移住促進に取り組んでいきたいと考えております。これからもオクスズの応援をよろしく願っています。							
36	山村の所でしか作れないもの「果物、山菜など」をブランド化し、街中と協力してアピールすることで実現する一歩にはなると思う。	地域のお宝継承の部分は、とりあえずブランドを作り、それをまず県内や外国人などに向けて情報発信する。あとは知ってもらうために、現地に来てもらえるようなツアーをする。	あまり、交流という、若い人達は興味がない人が多いので、まずファイリ層を中心にツアーを考える。それから少年団みたいな、小学生などの子どもたちを対象に宿泊体験みたいな形で交流する。子供なら、山村の人たちも当たりが強くはならないはず。	安心・安全な地域環境の整備については、オクスズの魅力が伝わるいい機会にするために、医療関係の施設は必要である。	移住世帯件数20件は正直厳しい、なので、10件を目標に、生活に必要な設備を整えるのが先だと思う。(病院とか)	オクスズ「おもてなし」の推進は、地域と街を繋げる一歩となるので、交流のためにぜひツアーなどをして、おもてなしを行い、評判を上げて欲しい。	役割を割り振るなら、もっと情報を発信し、街の人達にまず、どんなことをするのか伝えてほしい。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。目標指数についてご指摘をいただいたところですが、数字の計上方法としては、オクスズホームページ内にある「空き家情報バンク」を利用するなど、一定の条件を経て移住した世帯数としております。平成27年度の実績(見込み)は7世帯となっておりますので、今年度のペースを継続させていくことで3年で20件の移住者という目標を達成したいと考えております。その他の意見も参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。							
37	行き来がもっと簡単になったり、その地域に自分の求めるものがあれば、少しはいいのかなと思いました。	私は結構、田舎の風景とかが好きなので、静岡のツアーの中で回れたり、その井川とかに温泉とか、大きなアスレチックのある公園とか行きたくなるポイントを作ると後継者の確保も見込めそう。	ツアーとかを作ったりした際に、外国の方や他の地域の方とクイズやチームを作って遊んだり、新しい思い出を作ったり、きつとまたききたいと思ってくれそう。					
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。オクスズ地域内に求めるものがあれば可能性はあるというご意見をいただき、今後は今まで以上にオクスズの情報を市民の皆様へ伝えていかなければいけないということを感じました。そのためにも、現在こちらで認識している魅力以外にも新たな魅力を見つけ、市民の皆様にも発信していきたいと考えております。今後ともオクスズをよろしく願っています。							
38	自然の中で遊べたり、教育できるような施設があると、子供から大人まで楽しめ、オクスズに行こうと思える人が増えると思う。	高齢化が進む中、後継者がいなければ「生涯元氣集落の構築」が大切な目標になってくると思う。	オクスズは、交通の便が良くないから移住は難しいと思う。しかし、交流は年に数回でもオクスズに行こうと思えるようなイベント等を定期的に行うなどすれば増えると思う。	産業の創出として、オクスズ限定品を作ることでオクスズに足を運ぶ人が増えると思う。		オクスズ「おもてなし」の推進は、外国人の方からの評価もよくなるから良いと思う。		
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。おっしゃるとおり高齢化が進んでいる現在は、後継者問題が深刻となっております。地域出身の方々だけでは後継者が不足してしまっているため、外部からの移住を促すことで地域の担い手となってもらうような方々を呼び込み、「生涯元氣集落の構築」を目指していきたいと考えております。また、その他の意見も参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。							
39	山と街の共存は可能だと思いますが、そのためにはより山に近い街、つまり道路整備が必要不可欠だと思います。	重点目標を大きく広く多くの人に知ってもらう活動をした方がいいのではないかと思います。	重点目標を4つに増やすことに関しては、ありだと思います。そして交流する際に山中をメインとするのであれば、やはり道路整備が必要だと思います。	具体的な目標だと思います。	820,000人というとても大人数ですが、どのように達成するのか具体的に知りたかったです。	オクスズが私たちに比べてより身近だということを知ることができれば、発展するこゝとが可能な目標だと思います。	この話を広めることが必要だと思います。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。交流人口820,000人についてですが、数字の計上方法としては、オクスズの各施設の利用者合計の人数としております。目標達成のためには、多くの方々にオクスズに行ってみようと考えてもらうきっかけを作ることが必要であると考えております。パンフレットでの情報発信はもちろんのこと、ホームページや、Facebook等の複数の媒体で旬な情報を発信していくことで目標の達成を目指します。責務と役割については、おっしゃるとおり計画を策定した時点で終わりにしてはいけません。積極的に広報することで多くの市民に知ってもらえるよう努力します。その他の意見も参考にさせていただきます。							
40	この将来像にすることは良いと思うが、実際難しいと思う。もしこれを実現させるなら、小さいころからそういう意識を住民にもたせる必要があるからイベントなどで交流する機会を増やすべき。	少子高齢化が進んでいるので、地域を支える後継者の確保は難しいと思うから、まず女性が子供を産みやすい環境を作り、少子化を防ぐところからだ。	交流する目的とメリットを大々的に掲げて行って、住民の意識を高めることが大切である。	地域資源を活かすというのがとても良い事だと思うから、特にお茶を使って交流し、それが全国に広まればいいなど思う。また、維持保全が大切だから、駅などに広告をはればいい。	全て大きな目標だが、移住世帯件数20件というのはちょっと無理があるのではと思う。オクスズのメリットがそこまで知られていないのに、これをどう達成しようとしているのか気になる。	茶どころ日本一計画の推進は、幅広い世代へ受け入れられ、一番実現に近い事業であると思う。お茶の魅力は私も他県から来た時にすぐ感じたので、それは広まりやすいと思う。移住促進は今住んでいる人ではなく、他県から来る人へ推進してはどうか。	これは確かに、市民の問題であるので、周りの住民がサポートすることを前提に、責務と役割を担うようにすればいい。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。おっしゃるとおり将来像の実現や目標の達成は、行政職員だけの努力では不可能であり、市民の皆様が高い意識を持っていただかなければいけません。オクスズがどれほど素晴らしい地域なのかを市民の皆様にも知ってもらい、この地域を守ってきたいという気持ちを持ってもらうことが大切であると考えております。目標指数についてご指摘をいただいたところですが、数字の計上方法としては、オクスズホームページ内にある「空き家情報バンク」を利用するなど、一定の条件を経て移住した世帯数としております。平成27年度の実績(見込み)は7世帯となっておりますので、今年度のペースを継続させていくことで3年で20件の移住者という目標を達成したいと考えております。その他の意見も参考にさせていただきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。							
41	オクスズの活性化については賛成だが、そのために町おこしとして施設を作ったりイベントを開催するデメリット(森の乱れ、等)がでるはず。これに住民の人の理解は得られるのか。	後継者を増やすことは重要。しかし、そのためにはオクスズの活性化をし、未来を任える環境がないと増えない。	交流、活性化の結果として移住、定住がくるはず。	地域資源(オクスズの森)を活かした交流の推進 ＝キャンプや自然体験のできる施設。	野生鳥獣防除面積400haは1番初めにやるべき。オクスズの野生鳥獣問題は深刻。まずは環境作りから。	自然を生かしたおもてなしは、これから始めるはず。(都内一極化が進んでいるから) また、オクスズを現地としたアニメやドラマができれば訪れる人が増える。	行政の政策を市民や地元企業が理解し、共同で事業を行っていく必要があると思う。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。責務と役割についてですが、おっしゃるとおり官民連携で事業を進めていけることで守っていくことができると考えております。そのためにも、どれほど素晴らしい地域なのかを多くの市民に知ってもらいことが重要であると考えます。課せられた責務・役割は、オクスズという静岡市が誇れる全市民の資産を守っていくためだと理解してもらえよう、積極的なPRをしていきます。今後ともオクスズをよろしく願っています。							

番号	(1)将来像について	(2)重点目標について	(3)重点目標サブテーマについて	(4)大施策について	(5)主な目標指数について	(6)先導・横断的プロジェクトについて	(7)責務と役割について	(8)その他のご意見	
42		賛成	賛成	異議なし	異議はありませんが、野生鳥獣を捕獲し、荒廃農地の囲いの中で飼い、観光利用というのはどうでしょうか？	賛成	意見なし	観光案内、婚活、等のPRは静岡市内に止まることなく全国へ向けての発信が必要かと思えます。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。市内のオクズの認知度は上がってきました。そのため、現在では新東名高速道路静岡SAでの催事や、中京圏での広告など、市外・県外へのPRに力を入れており、引き続き市外・県外へのPRに力を入れていきたいと考えております。今後ともオクズをよろしく願っています。								
43	今、玉川地域でも2代、3代になって会社勤めの関係から都市部に行き山村地域の人口も毎年少なくなってきたりしています。現在玉川の奥ノ原の砂防ランドに第一層のワイン工場ができてきました。1月24日には「玉川農産物加工所お披露目式が10時から14時がありました。今、このようなものを作って雇用の問題、都市部から人が少しでも多く入ってくることを望んでいます。	玉川加工所とかワイン工場ができてきたところでも務め仕事があれば、少しでも地域の人が入ってきてくれると思います。仕事がなければみんな都市部に流れてしまっ少しでも地域の活性化に繋がればと思っています。	移住、定住にはやはり地域に仕事があれば始まりません。その実、加工所やワイン工場によって働き先も地場も活性化し人口が増えることを望んでいます。また、都市部からも定住はなくても多くの人に来てくれると思っています。	幸いにも、担い手獲得という点では「玉川農産物加工工場」ができた点が良かったと思います。	目標でもそのように実現できればよいなと思います。	野生鳥獣被害も年々増え、深刻な問題となってきております。でも、伊豆のほうですが、電気柵などの事件の問題とか、でも少しでも静岡市の山林を使って家を建ててもらったり地域資源の活性化につながることを望んでいます。			
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。仕事がなければ移住・定住には繋がらない、もっともな意見だと思えます。しかしながらオクズ地域に就労可能な事業所は少ないのが現状で、移住者の大半は仕事のために市街地まで通っています。東京都有楽町にある市の移住支援センターでは、求人情報を取り扱っている法人と連携し、本市に移住を希望する者の職探しの手伝いをしています。それを範として、今後は移住希望者の職探しについてもフォローできたらと考えております。その他の意見も参考にさせていただきます。今後ともオクズをよろしく願っています。								
44	面積で見ると静岡市のほとんどが中山間地域です。静岡市がこれから更に発展していくためには、この中山間地域を使っていくしかないと思います。静岡市オクズ地域おこし計画は、10年後の静岡市を左右する重要な計画です。期待しています。		中山間地域の人口を維持し、農業や林業の担い手を増やしていくことは重要なことだと思えます。ただ、ここでいう「活性化」とは、どういう状態になるのか、また、都市住民と中山間地の住民の交流を増やすのは何のためなのかということが分かりにくいので、解説を入れてはどうでしょうか。	5月から9月にかけて、両河内にはキャンプやバーベキューに大勢の人が訪れますが、ごみの放置、夜間の騒音、違法駐車で住民は大変迷惑しています。町中のスーパーで買い物をして、仲間同士で楽しんでいるため、経済的効果も交流もありません。「地域資源を活かした交流の推進」に、このようなレジャーが含まれているようでしたら一考ください。規制すべきだと思います。		農業、林業が実際に儲かる仕組みが必要だと思えます。		現状を見ると、井川に比べ、両河内や由比の施設や取り組みが弱いように思えます。両河内や由比にも積極的な投資をお願いします。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。井川地区に比べて清水区の施設の整備や、取組みが弱いのご指摘についてですが、平成26年度に南アルプスがユネスコエコパークに登録されました。そのことから、世界的に認められた地域の魅力を皆様に発信するため、平成27年度において井川地区のみで実施された事業もありましたが、その他の事業については全地域同じ条件で執行させていただいております。しかしながら今回のようなご指摘をいただいたということは、市民の皆様にもそのような印象を持たれていることだと思えますので、清水区の地域について今まで以上に積極的にPRしていこうと思えます。その他意見も参考にさせていただきます。今後ともオクズをよろしく願っています。								
45	都市部では、当然にある生活環境、特に教育や医療の施設が山村には不足している。高齢化、少子化が山村部では顕著であり、都市と共生する以前の問題として対処しなければならぬ気がする。都市部、市街地の住民にとって、どれだけの山村に意義があるのか考え直さなければいけない。山村部の自治を強め、多機能小規模自治をヒントに作り上げることも考えたい。	地域のお宝の継承について。オクズには特色ある文化が未だ多く残っており、後世に残していくことは重要である。が、その「お宝」が果たして現代において本当に必要なのか、残し方として「後継者を確保する」以外に無いのか気にかかる。新しくオクズ地域に移住する人に負担を過度にかけさせないか。	内発的発展による活性化であるが、集落内でそのような動きが起こっても、なかなか大きなムーブメントにならない現状がある。これには継続させる難しさ、活動の芯となる目標の不安定さがある気がする。都市住民を巻き込んで、地域住民のサポートをするシステムが欲しい。	「地域資源を活かした新しい産業の創出」について。農林産物のブランド化というのは実際なかなか難しいのかもしれないが、加工によって付加価値をつけるアイデアは暮らしの中に眠っている気がする。オクズに合った企業の誘致を進め、省エネのモデル地区となるように進んでもらいたい。林業の環境改善は必須。	都市農村交流人口820,000人という数値がよくわかりません。野生鳥獣の被害は非常に深刻であるので、とにかく多くの面積をカバーできるのが望ましい。移住世帯件数20件は、空き家バンクがうまく機能すれば十分可能だと思う。	オクズの魅力をもっと知ってもらうため、「おもてなし」の推進は必要であるし、地域資源をもっと地域全体で掘り起こすことが必要である。定住をしたい人のために居住可能な不動産を確保することも急務である。オクズの各地域が連携してプロジェクトを行うことも良いと思う。		まず、住民のニーズを何度でも確認することが必要な気がする。このパブリックコメントについてもそうだと思うが、要望を含む意見などについて徳助な人も多いかと思う。もしかしら、そのままの地域で良いという人もいるかもしれない中で、責務や役割をつくるのには注意してほしい。	空き家について。空き家バンク登録数を増やしてほしい。住民の協力はもちろん、地元の信頼の厚い、農協や森林組合などを仲介して件数を増やせないだろうか。危険な(負の)土地利用からオクズ活性化につながる大きな柱となる気がする。もう少し予算を割いてもいいのではないかな？
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。交流人口820,000人についてですが、数字の計上方法としては、オクズの各施設の利用者合計の人数としております。目標達成のためには、多くの方々にオクズに行ってみようと考えてもらうきっかけを作ることが必要であると考えております。パンフレットでの情報発信はもちろんのこと、ホームページや、Facebook等の複数の媒体で旬な情報を発信していくことで目標の達成を目指します。空き家情報/バンクの登録数については、現在地域住民の方々と連携して空き家の掘り起しを行っているところです。今後はいただきましたアイデアも活用させていただきまして、件数の増加を図っていきたく考えております。いただきましたその他のご意見も参考にさせていただきます。								
46								オクズは薬科川、安倍川側の地域ですが川に関する政策も入れてほしい。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。ご記入いただきましたとおり、安倍川、薬科川、大井川(井川地区)、興津川等の河川も貴重なオクズの資源だと考えております。先導的・横断的プロジェクトの1つに「地域資源を活用した活性化」がありますが、オクズを流れる清流もその地域資源の一つとらえ、積極的なPRを心掛けます。今後ともオクズをよろしく願っています。								
47			「交流(都市住民と地域住民の協働)」オクズを都市住民に触れたいために、市役所本庁内へのオクズショップの開設を検討する。ショップ内ではオクズでの食材や加工品、特産品、木製品などの販売を行うことで都市住民がさらにオクズへの関心を持つことで訪れ、交流が促進されると考えられます。また、おおきな売上を確保できるようにすれば、地域住民も新商品開発や商品力のPRなどに力を入れると考えられます	「地域資源を活かした交流の推進」オクズにある市営温泉や旅館温泉施設を静岡市民や静岡市街住民の若い世代がもっと利用してもらうために、市内小中学生への温泉利用券の無料配布を行い、子供たちの「温いくプロジェクト」を行う。街中のスーパー銭湯より、大自然に囲まれた温泉が開放感もありのびのびできることを子供たちに知ってもらい、オクズの温泉にまた来たいと感じてもらうことを目的とします。また、温泉施設はその「温いくプロジェクト」期間中に子供たちが訪れたいと思う施設づくりに努めるように指導していきます。(例:竹とんぼ教室の常時開催や竹馬や竹ぼっくりの設置など、山里ならではの昔ながらの遊び)なお、子供だけでは温泉に行くことはできないので、親や祖父母が同行することで、温泉施設にとっても収益の増大につながると思えます。温いく(おんいく)＝温泉教育のために温泉へ行く				「オクズ」の認知度が上がってきている今日において、その屋号を地域資源と組み合わせ、「オクズ温泉」、「オクズ美食」、「オクズ名産」、「オクズ観光」、「オクズジビエ」という地域資源との組み合わせを行うことで、地域事業者の意識を高めたり商品の魅力向上に繋がると考えられます。また、それぞれの幟や店頭入口用シールなどを作成してPRを行うとより効果的であると考えられます。① ジビエ料理を提供する店を増やすために「オクズジビエ」ブランドの立ちあげ② ジビエ料理は臭みや固いというイメージを取り除く為の「オクズジビエ」グランプリの開催③ ジビエ料理を提供している店や鳥獣肉を提供している肉店・スーパーを紹介するパンフ作成やホームページ開設とともに、スタンブラリーを開催して認知度向上と消費者へ美味しさや楽しさを感じていただく。ジビエが美味しいことが周知されればジビエ肉を買い求める人が増え、さらに店舗でのジビエ料理提供が利益に繋がることが周知されればジビエ料理を提供する店が増えることで、狩猟者(捕獲者)の増加を後押しすると考えられます。狩猟者が増加すれば野生鳥獣の防除面積も拡大に繋がります。④ 鳥獣肉を加熱不十分で食べるとE型肝炎や腸管出血性大腸菌症、食中毒のリスクがあることや、寄生虫への感染の危険もあるため、それらを狩猟者へ意識づけるための講習を行い安全制を高める。⑤ 捕獲した野生鳥獣を大事な地域資源として活用するために獣肉加工施設を立ち上げる。	
市の考え方	貴重なご意見ありがとうございます。各項目において、プロモーションに関連する具体的な施策案をいただきました。大施策の下に整理している「第4期実施計画」における各事業施策展開の中で参考にさせていただきます。今後ともオクズをよろしく願っています。								

番号	【①将来像について】	【②重点目標について】	【③重点目標サブテーマについて】	【④大施策について】	【⑤主な目標指数について】	【⑥先導・横断的プロジェクトについて】	【⑦責務と役割について】	【⑧その他のご意見】
48	市街地へ最短距離を得るためのトンネル(交通アクセス)の整備	大変結構。その為にも地域の組織づくりネットワーク、具体性のあるビジョンの浸透を願っています。	従前のテーマそのものが住民の多くに浸透していなかったと思います。よりきめ細やかな住民への意識高揚を図る手立てが欲しいです。	資源(自然・人・山・森)宝(ダム開発時に残してくれた「田」「ダム湖」を有効に利用した施策が欲しいです。		野外活動を推進できる施設が地域全体にいくつありますか？井川小学校再活用も可能な施設になるのでは？	地域にある諸々の活動母体の中のリーダー養成(研修)又組織・同志のネットワークづくり	井川にある農林産物加工所は、27年前に農協の施策として建立されたものですが、老朽化と運営上の不都合な局面が多く、働く場として従業員の安心・安全を確保しかねています。今年度で耐用年数も経過します。当地域の活性化を願って女性たちで頑張っています。ご支援とご検討をお願いします。
市の考え方	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 ご指摘いただきました「テーマが浸透していない」という点につきましては、改善していけるよう広く周知していくことを心掛けてまいります。 また、④にてご要望のあった「地域の資源・宝を利用した施策」についてですが、この計画の先導的・横断的プロジェクトの1つに「地域資源を活用した活性化」があります。 地域の資源・宝について今一度見直し、事業を組み立てていくことで、地域の魅力を積極的にPRしていきたいと考えております。 今後ともオクスズをよろしく願いたします。</p>							